

地域資源を活用した循環型社会の展開



大館というところ。

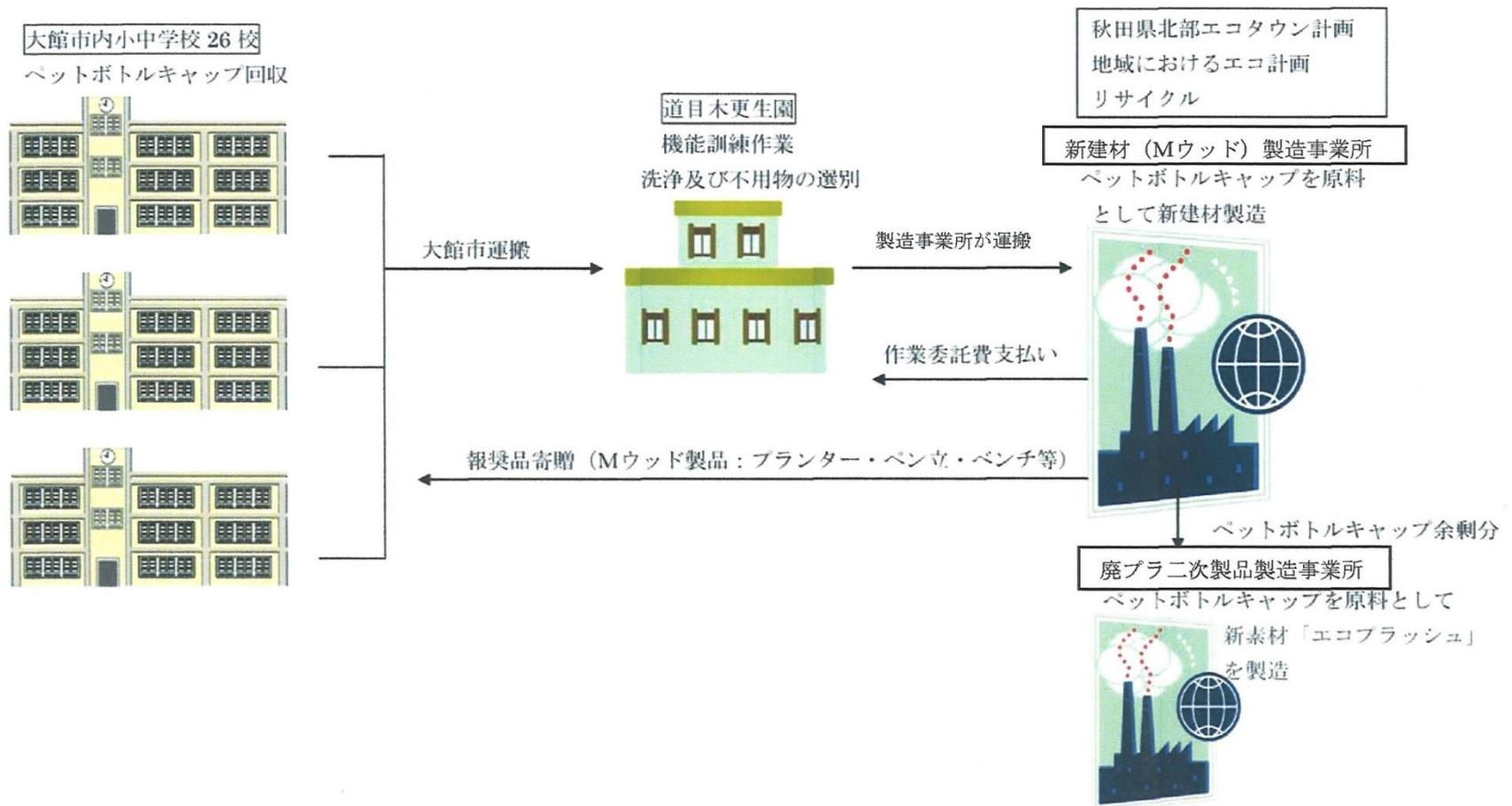
秋田県大館市



- 位置：北緯40度16分、東経140度34分
秋田県北東部に位置
- 地勢：秋田県北部を東西に流れる米代川と長木川沿いに開けた、大館盆地にあり、豊かな自然に囲まれている。
- 面積：913.22km²
- 人口：74,856人（H28.11.1現在）
- 世帯数：31,624世帯（H28.11.1現在）
- 特産品：秋田犬、秋田杉、曲げわっぱ、比内地鶏、きりたんぽ、とんぶり、枝豆

1 概要

ペットボトルキャップリサイクル事業



ペットボトルキャップ回収(小学校)



ペットボトルキャップ選別(福祉施設)



釜石市の小学校へプランター贈呈

交流会



岩手県 釜石市

つなごろう ささえあおう



秋田県 大館市

このプランターは子どもたちが回収したペットボトルキャップを再利用して作られています。

これが子どもサミット2016の活動です



大館市児童生徒合同活動
大館市子どもサミット

【運営委員からの提案】

あいさつを頑張っている人をしつかり評価してあげることが大事。そのためには、今後、放送などを通じてあいさつの良い人を紹介する等、各校ごとに広く周知する取り組みを展開していきます。

【運営委員からの提案】

- ・笑顔十あいさつ
- ・目を見てあいさつ
- ・相手の名前十あいさつ
- ・明るさと礼儀を極めて
- ・あいさつに一言付け足す

【会議で紹介された各校の例】

各校、「あいさつ」のよい学校を目指していますが、それぞれ、ただ、あいさつが良いだけではなく、十α（プラスアルファ）の付加価値を求めています。

【会議で紹介された各校の例】

- ・除雪ボランティア（冬）
- ・サケのたまご放流／長木川クリーンアップ
- ・地域のかたの悩み事を解決
- ・あいさつ一言付け加えて
- ・雪かきやそうじで地域を明るく
- ・地域の人とあいさつ運動
- ・地域の人に花を届ける

～コミュニケーションを図る～

サミット代表会議での話し合い

昨年の12月27日に子どもサミット代表会議が行われました。この会議では、平成28年11月に立ち上がったばかりの、新しい委員による初めての話し合いを行いました。サミット委員の活動は、11月から翌年10月までが1サイクルとなっており、そのため、11月に新旧の委員の顔合わせを行い、活動の引き継ぎを行っています。

地域の活動の充実を

代表会議では、各校が行っている「地域の活動」を紹介し合い、その取り組みの良さを他校でも取り入れようと考えました。

【会議で紹介された各校の取り組み】

- ・クリーンアップ活動（夏）
- ・もつとぎきれいな地域に

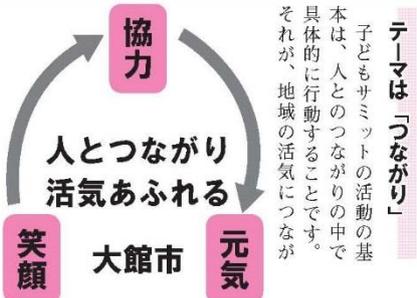


キャップ回収に対して市から感謝状



サミット会議で小学生と中学生が一緒に話し合います

—大館市子どもサミットは— 大館市の未来を創造する子どもたちの挑戦です



テーマは「つながり」

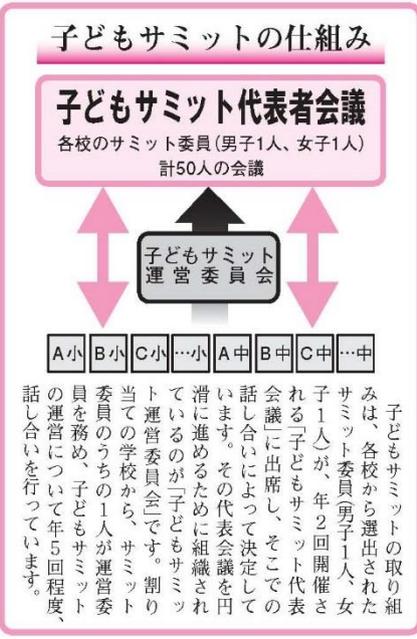
子どもサミットの活動の基盤は、人とのつながりの中で、具体的に行動することです。それが、地域の活気につながり、ひいては自分たち自身の成長につながると考えています。

共通の取り組みは代表会議で決定

各校から2人のサミット委員が集まって開催される「子どもサミット代表会議」で、全小・中学校の共通の取り組みが決定されます。原案は、子どもサミット運営委員会が話し合い、全体の代表会議で提案します。

子どもサミット新聞

発行・編集
学校教育研究所
Tel 43-7112
大館市教育研究所
Tel 43-7114



12月に選出されたサミット運営委員を紹介しします

運営委員長 藤野 翔輝さん (第一中学校)

運営委員

- 有浦小学校 山瀬小学校
- 成章小学校 西館小学校
- 黒田 紗那さん 佐藤 莉南さん
- 山田 七海さん 工藤 嘉将さん

運営副委員長 北陽中学校 日景太郎さん

田代中学校 浅利 汐さん

また、子どもサミット代表会議では、大館市の各小・中学校で、意見を交換したり活動内容を決めたりしていきたいと考えています。ご協力をお願いします。

子どもサミットの取り組みは、各校から選出されたサミット委員(男子1人、女子1人)が、年2回開催される「子どもサミット代表会議」に出席し、そこでの話し合いによって決定して話し進めるために組織されているのが「子どもサミット運営委員会」です。割り当ての学校から、サミット委員のうちの1人が運営委員を務め、子どもサミット運営について年5回程度話し合いを行っています。

2-1 大館市ハチ公ベンチ設置事業

大館市では、皆さんの喜びや楽しい思い出となるオリジナルメッセージをベンチに刻んでいただくため「ハチ公ベンチ」設置事業をはじめました。この事業は、一般の方々からベンチの寄附を募り、寄附をいただいた方々のメッセージを記入したプレートを背もたれに付けたうえで、ご希望の公園に設置するものです。

募集する公園… 桂城公園、二ツ山総合公園、長根山運動公園、長木川河川緑地、達子森公園、田代スポーツ公園、市内の児童公園ほかベンチ、プレートのデザインと価格

ベンチデザイン

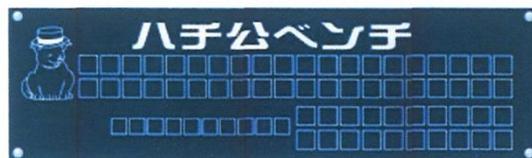
背もたれ式



幅	1,550mm
高さ	772mm
奥行き	619mm
脚部	アルミ合金鋳物
座面	合成木材

※本製品は、(社)日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品であります。

プレートデザイン



メッセージ 40 文字以内	幅	145mm
	高さ	45mm
寄附者名 20 文字以内	厚さ	1mm
	材質	アルミニウム

メッセージの例

1. 桜が満開に咲く頃、桂城公園で出会い、今年で結婚して25年たちました。
大館太郎・花子
2. 秋田県大館ハチ公ラグビークラブ 創設50周年記念
秋田県大館ハチ公ラグビークラブ一団

上記のプレート付きベンチの価格 **15万円**

2-2 大館市環境マネジメントシステム

大館市では、平成11年度から環境マネジメントシステムを導入し、平成12年度から国際規格ISO 14001を取得。

その中で、物品購入基準を定め、エコマークまたはグリーンマーク認定商品を優先的に購入しています。

大館市役所におけるエコマーク等商品購入実績

年度	件数	購入金額(円)	適合分調達率(%)
23	5,315	56,221,974	99
24	6,531	60,367,045	99
25	5,779	66,316,805	98
26	5,644	75,085,359	99
27	6,002	72,199,426	98

※ エコマーク認定など各認定ごとの集計はしていません。

基調講演

●「ご存じですか？小型家電リサイクル！」 環境省リサイクル推進室長補佐 森田有一氏

ディスカッションに先立ち、小型家電リサイクル法施行に至る国の現状を、我が国の3Rの歴史的な背景、世界との対比を交えてご説明いただきました。『こでん』回収の必要性、“都市鉱山”たる日本の優位性を、観客を巻き込むアクティブ&ユニークな手法でご講話くださいました。



パネルディスカッション

●「こでんはどこへ行くの？～こでん回収でオリンピック参加～」

コーディネーター	関西大学名誉教授	大西正曹氏
パネリスト	慶應義塾大学教授	細田衛士氏
	東北大学教授	中村崇氏
	環境省	森田有一氏
	アスリート	里谷多英氏
	大館市長	福原淳嗣

なぜ小型家電リサイクル法が作られ、また促進型という手法がとられたか、同法のかじ取り役である環境省森田氏の説明と、各分野の第一人者である細田教授、中村教授から解説を頂きました。全国に先駆けて小型家電の回収試験を「大館」で行うこととなった経緯を踏まえ、発祥地「大館」から2020年東京オリンピックへ向けたアプローチ、そして市長が持つ未来の大館、環境共生都市のビジョンまでを、多角的、多面的に紐解き、ディスカッションしていただきました。



オリンピックメダリスト講話

●「夢への挑戦」柔道 古賀稔彦氏

- ◇1992 バルセロナオリンピック金メダリスト
- ◇1996 アトランタオリンピック銀メダリスト

世界選手権2階級制覇、オリンピック二大会連続でメダルを獲得するなど、自身の輝かしい栄光をバックグラウンドに、挑戦へのモチベーション維持、目標との付き合い方など、スポーツに限らず”夢”実現のための心がまえをお話いただきました。当日は「平成の三四郎」の一挙手一投足を見逃すまいと最前列にちびっこ柔道家がズラリ。2020 東京オリンピックへ向け、『大館の三四郎』たちが手ほどきを受けました。



特設道場で世界の技を伝授

●「人生コブあり谷あり」モーグル 里谷多英氏

- ◇1998 長野オリンピック金メダリスト
- ◇2002 ソルトレイクシティオリンピック銅メダリスト

五大会連続でオリンピックに出場、長野では日本人初となる冬季五輪金メダルを獲得するなど、常に第一線で活躍してきた輝かしい競技人生の影には、途方もない失敗・挫折があった…。明と暗、すべての経験が元気に笑って過ごせる今の自分につながっているという人生講話をいただきました。



大館市は、八戸市、一関市とともに「使用済小型家電から回収された金属で2020年東京オリンピックのメダルを作ろう」を掲げ、実現に向け組織委員会へ提案するなどの取り組みをしています。本シンポジウムでは、オリンピックにおいて金・銀・銅メダルを獲得すべく日々鍛錬を重ねるアスリートの立場から『こでん』回収を応援していただき、タッグを組むことで小型家電の回収を盛り上げようとするものです。ご講話いただいたアスリートからは「エコメダル実現に向け大館市はがんばっています。しかし、金メダルは一人では作れない。みんなで盛り上げましょう」とのメッセージもあり、取り組みをいっそう盛り上げてくださいました。

ご当地アイドル まちあわせハチ公ガールズ



家電・小型家電リサイクル事業

《 鉱山関連基盤を活用した、廃家電・小型家電のリサイクル 》

- 事業主体 : 株式会社エコリサイクル
- 事業場所 : 大館市花岡町堂屋敷
- 整備費用 : 5億3800万円
- 操業開始 : 平成13年4月(家電リサイクル法施行)
平成25年4月(小型家電リサイクル法施行)



コンポスト事業

《 鶏糞と生ごみから良質な堆肥を製造し、循環型農業の確立を目指す 》

- 事業主体 : 大館市
- 整備費用 : 4600万円
- 操業開始 : 平成13年3月
- 処理方式 : 高速堆肥化方式
- 処理能力 : 1, 100t/年



- 商品名 : 土っ恋しよ
- 製品価格 : 袋詰 346円/袋
バラ 5,775円/t
配達 1,155円/t 増額

※ 経費削減のため、23年度に攪拌方法を変更(パドル方式⇒スクリュウ方式)

土壌浄化、中間処理、最終処分事業

○ エコシステム花岡

～ 選鉱技術を活用した、国内初の土壌浄化施設 ～

- ・ 鉱山時代の選鉱設備を活用し汚染土壌を浄化
- ・ 露天掘り跡地の天然遮水層を利用し最終処分



○ エコシステム秋田

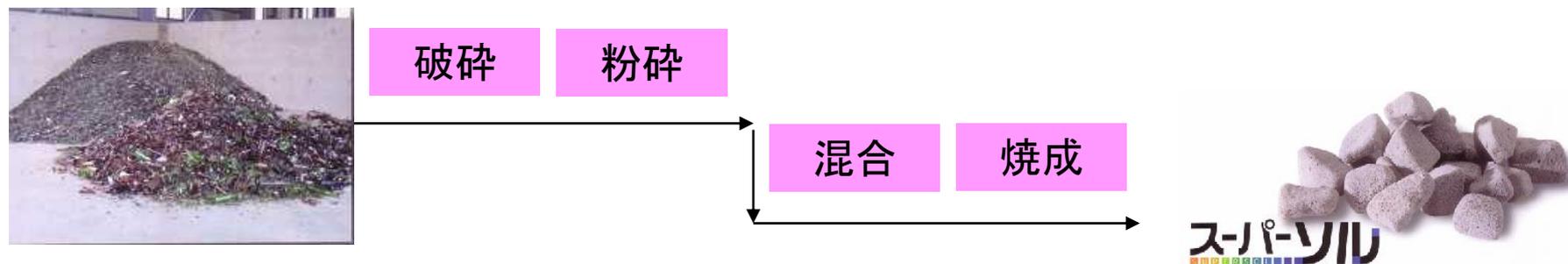
～ 鉱山の高度な技術で廃棄物を中間処理 ～

- ・ ほとんどの廃棄物を適正に処理することが可能
- ・ 2016年3月、低濃度PCB汚染物無害化処理について環境大臣の認定を受けた。同年5月新工場が竣工し、事業を開始した。



廃ガラス・廃木材リサイクル事業

- スーパーソル製造事業 エコマーク認定 08131005
～ 廃ガラスびんを原料に多孔質軽量資材(軽石)を製造 ～



- 木質ペレット製造事業
～ 廃木材を原料に木質ペレットを製造 ～



実施主体: 北秋容器株式会社

廃食用油回収・溶融スラグ製品化事業

○ 廃食用油回収事業

～ 廃食用油をBDF(バイオディーゼル燃料)に精製 ～

- ・ 大館市てんぷら油回収システム協議会が廃食用油を拠点回収
- ・ NPO法人工房JOYさあくるがBDFを製造、販売



○ 溶融スラグ製品化事業

～ 大館クリーンセンターから排出される溶融スラグを製品化 ～

- ・ 溶融スラグを、アスファルトの砕骨材(砂の代替品)として利用するため、整粒し販売
- ・ 実施主体 大館市



市を上げてエコマークの普及啓発に取り組みます。

ご静聴ありがとうございました。

